城里町のいのしし捕獲マップ

生態系のバランスを正常化させ農作物被害を減らせ!!

はじめに

城里町は、農業の盛んな自然豊かな地域です。でも近年いのししによる農作物被害が多く聞かれ、自宅の目撃も見られる事は珍しくなく、私種前の作物は僅から無り起されます。花舟も電気防護柵の対策をしています。

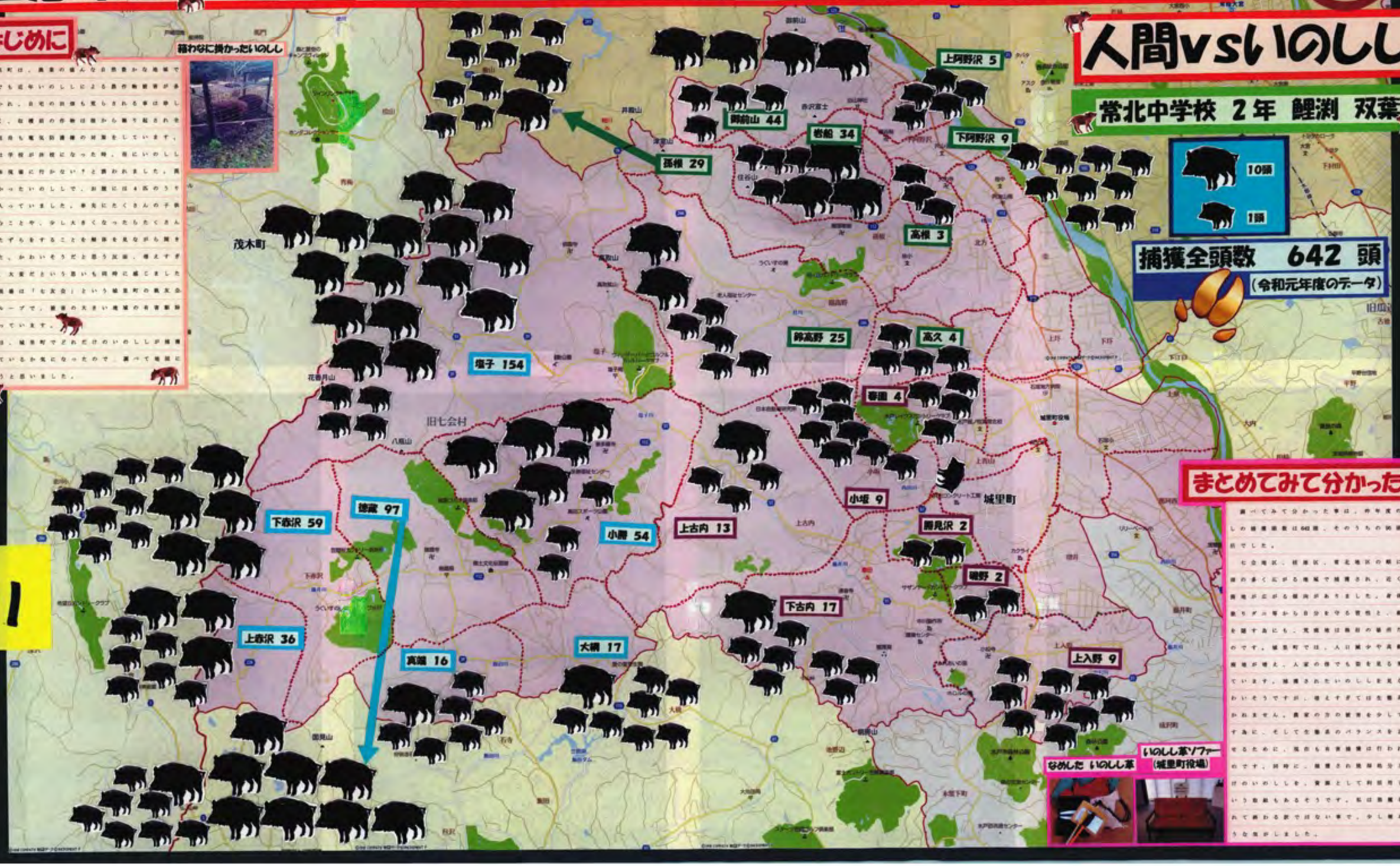
私は学校が非常になった時、市にいのししの解体現場に行かない？と誘われました。真に掛かったいのししで、お腹には4匹のうり坊が入っていました。事先にたくさんの子供を生むことや、少し大きくなったらたくさんのいたずらをすることを解体を見ながら聞きました。かわいそうだと思う反面、増えすぎたら、大変だという思いも同時に感じました。この現場は「七友会」という城里町の親友会」グループで、被害の大きい地域の有害駆除を行っています。

私は、城里町でどれだけのいのししが捕獲されているか気になったので、調べて地図にしようと思いました。

箱わなに掛かったいのしし

人間vsいのしし

常北中学校 2年 鯉渕 双葉



まとめてみて分かった事

調べてみて分かった事は、昨年度のいのししの捕獲頭数は642頭、そのうちの96頭はうり坊でした。

七会地区、桂原区、青北地区の順に山や田畑の多く広がる地域で捕獲され、近くには見廻地が広がる傾向がありました。身体に肉を乗りダニ等から自分を守る習性と、敵から身を隠す為にも、見廻地は格好の場所だというのです。城里町では、人口減少や高齢化で見廻地が増え、人家の傍でも姿を見る事になっています。捕獲されたいのししを見ると、かわいそうですが、増えすぎては生態系を壊しかねません。農家の方の被害を少しでも減らす為に、そして生態系のバランスを正常化させるために、現在も有害捕獲は行われているのです。同時に、捕獲され廃棄処分されるだけのいのししを、資源として利用用しようという取組もあるそうです。私は捕獲者多いされて終わる訳ではない事で、少し増われるような気がしました。

なめした いのしし革

いのしし革ソファー (城里町役場)